

# 地震津波火山観測網に関する対策【文部科学省】

## 施策概要

南海トラフ地震の想定震源域のうち観測網の空白域に観測システムを構築する、停電時観測時間が1日未満の旧型観測機器を新型機器に更新する等、防災対策に資する研究開発を促進

## 効果

地震・津波を早期検知等による被害軽減の実現や、大規模な災害や広域な停電が発生した際にも継続して災害状況の観測実施により安定した情報収集を実現



国立研究開発法人  
防災科学技術研究所



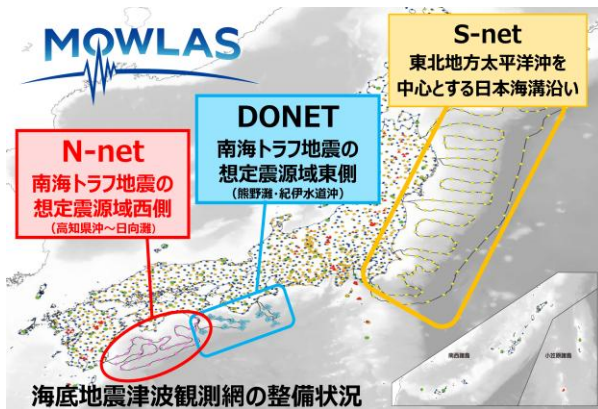
海底地震・津波観測網の  
構築・運用

## 全国的な対策と効果

### 対策

高知県沖から日向灘にかけて南海トラフ海底地震津波観測網(N-net)を整備し、令和7年度に本格運用開始  
全国の地震火山観測網について、災害等に伴う停電時等においても7日以上にわたってデータ収録・送信等が可能となるよう、旧型観測機器440箇所を新型観測機器に更新し、緊急地震速報等の安定的運用に貢献

【観測網の整備状況】



全国強震観測網の観測施設



高感度地震観測網の観測施設

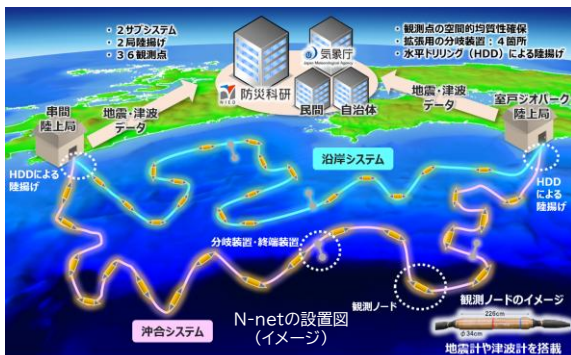


更新後の観測装置



更新後の観測装置

## 5か年加速化対策の効果



- ▶ 令和6年8月8日に日向灘を震源とする地震(最大震度6弱)が発生。試験運用中のN-netの沖合システムで観測した地震・津波のデータが、政府の地震調査研究推進本部における地震の評価に早速活用された。
- ▶ 令和7年6月8日に沿岸システムの整備を終え、N-netの整備が完了。N-netの整備により、**地震動を最大20秒程度、津波を最大20分程度早く直接検知可能**となった。気象庁の津波情報や緊急地震速報にも観測データの活用が開始された。**国民への迅速な情報周知により地震や津波から身を守るための時間が長くなる**ことが期待される。

## 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
-	40億円	58億円
R6	R7	累計
21億円	0.9億円	120億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

## 目標達成の見通し

